

# 経営比較分析表

青森県 佐井村

| 業務名       | 業種名         | 事業名         | 類似団体区分 |                                |
|-----------|-------------|-------------|--------|--------------------------------|
| 法非適用      | 下水道事業       | 特定環境保全公共下水道 | D3     |                                |
| 資金不足比率(%) | 自己資本構成比率(%) | 普及率(%)      | 有収率(%) | 1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円) |
| -         | 該当数値なし      | 61.86       | 107.30 | 3,240                          |

| 人口(人)      | 面積(km <sup>2</sup> )     | 人口密度(人/km <sup>2</sup> )      |
|------------|--------------------------|-------------------------------|
| 2,292      | 135.04                   | 16.97                         |
| 処理区域内人口(人) | 処理区域面積(km <sup>2</sup> ) | 処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> ) |
| 1,400      | 0.36                     | 3,888.89                      |

## グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 平成26年度全国平均

## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

人口の減少に伴い水洗化率も横ばい傾向で伸びがなく、料金収入にもあまり変動がみられない。そのような中、過去に実施した施設整備費に係る地方債の償還が平成52年度まであり、一般会計からの繰入金によって経営が成り立っている現状です。

起債金額が歳出の大半を占めているのに対し、供用開始後一度も料金改定を行っていないこと、また、水洗化率が増加していないため施設利用率も低く、施設に係る維持管理費が過大となっていることが原因と考える。

今後も人口増加を見込むことができないため、料金収入も増加しないことが想定されることにより経営の現状維持も厳しくなることが予想される。維持管理費等の節減に努めるほか、村で行っている補助金交付事業等を活用し1件でも多くの接続を促進していくとともに、計画的な料金改定を実施し経営の改善を図ります。

### 2. 老朽化の状況について

平成19年度より供用開始しており、更新・管渠延長はない。

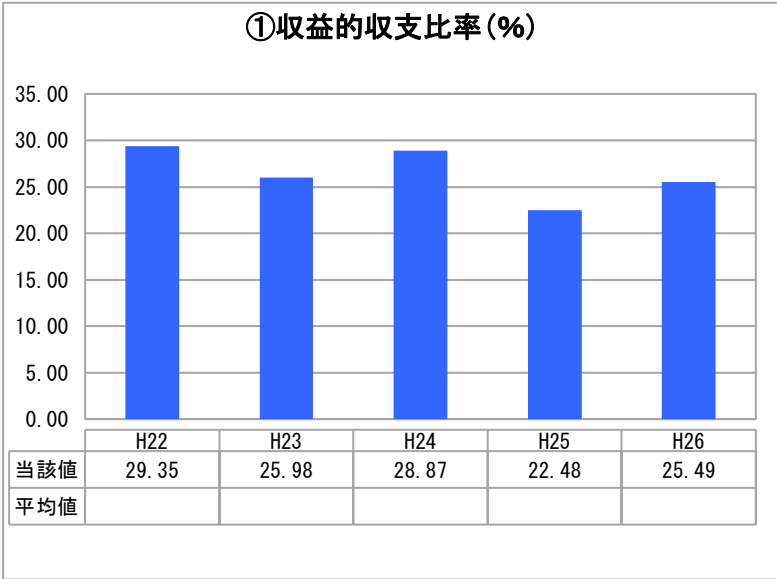
長寿命化対策を計画的に実施し更新等に努めたい。

## 全体総括

人口の減少に伴い接続率に伸びがなく、料金収入にもあまり変動がみられない中、過去に実施した施設整備費に係る地方債の償還額が大きく一般会計からの繰入金によって経営が成り立っている状態である。

今後人口の増加を見込むことは困難なため、現状維持に努めていく必要がある。また、水洗化率の向上に向けた取組を推進していくとともに、維持管理費等の節減に努め、計画的な料金改定を実施し経営改善を図っていく。

## 1. 経営の健全性・効率性



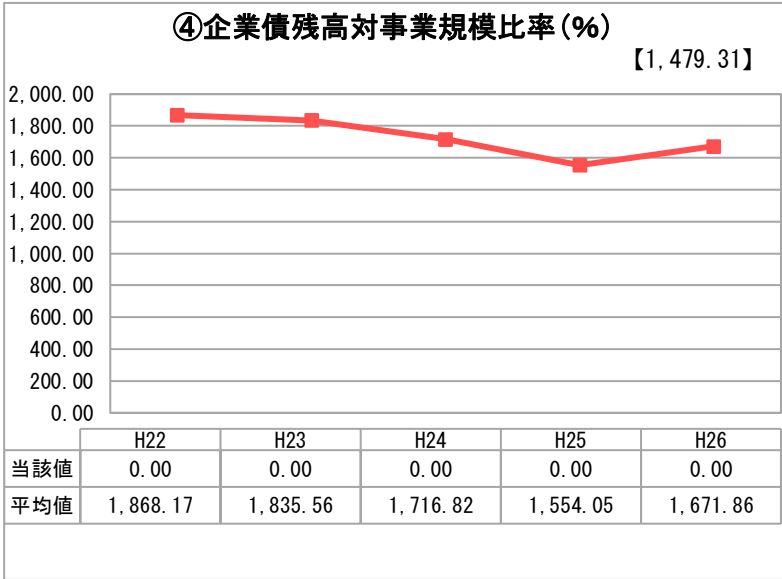
「単年度の収支」



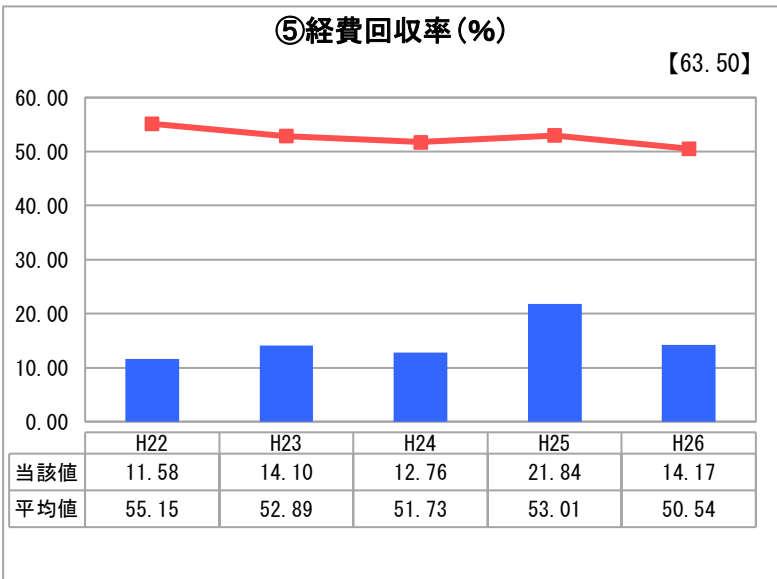
「累積欠損」



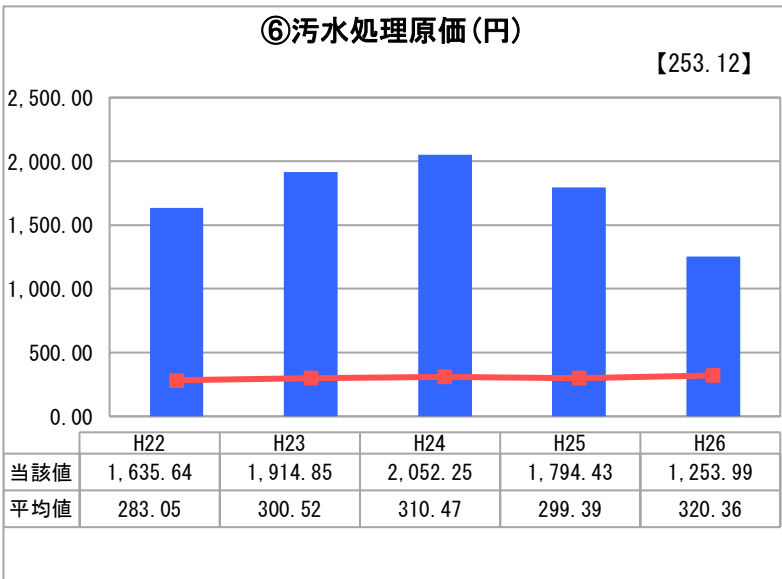
「支払能力」



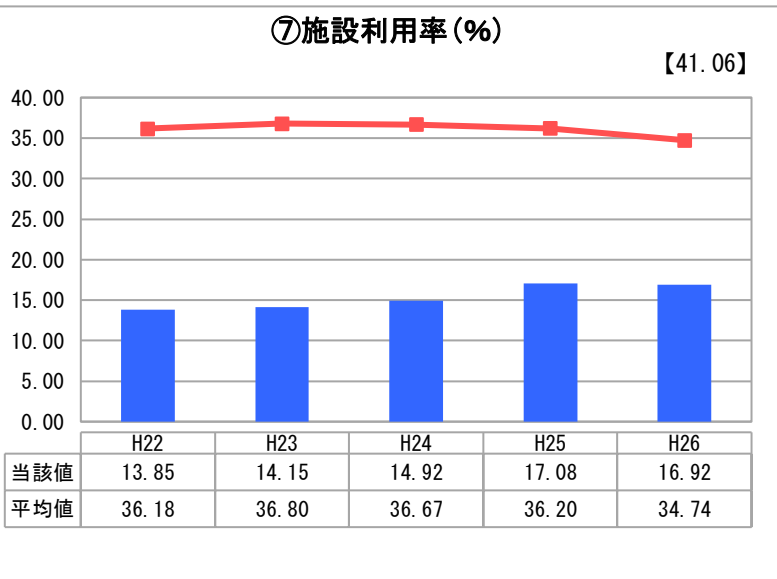
「債務残高」



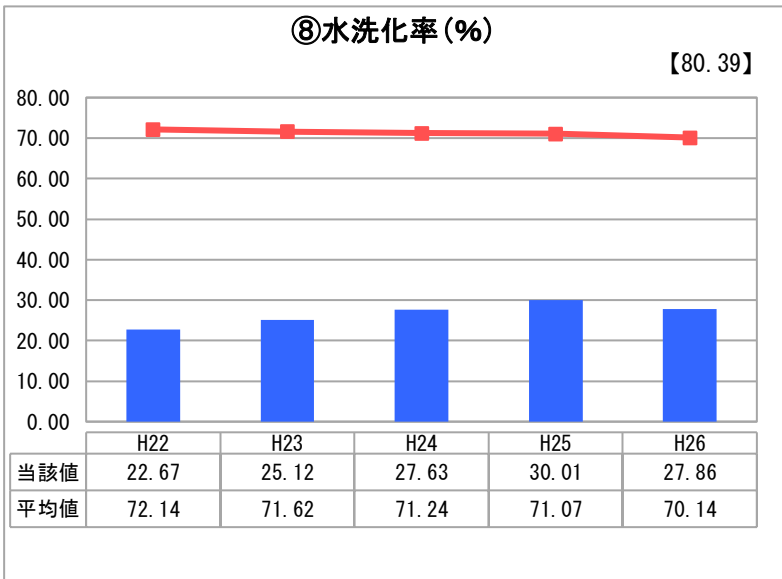
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」



「施設の効率性」



「使用料対象の捕捉」

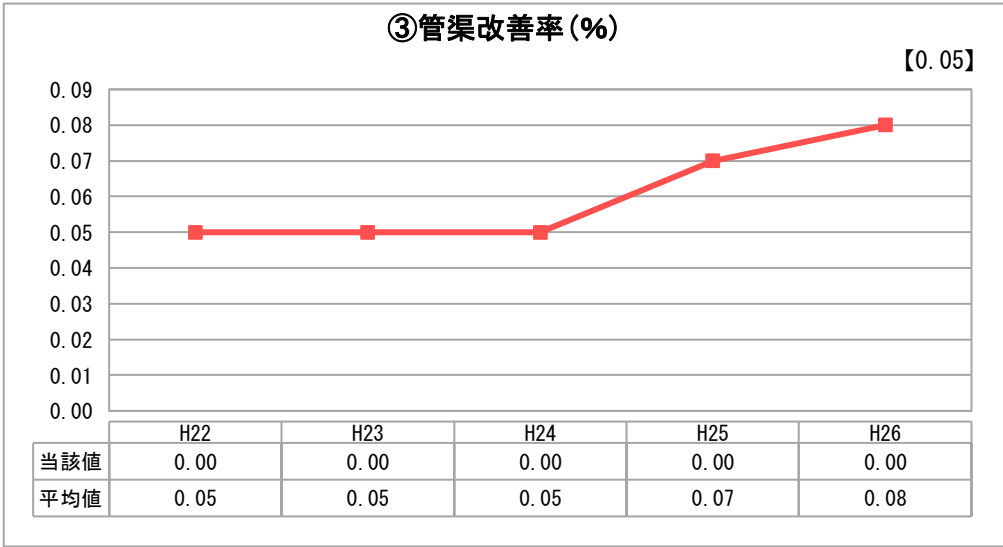
## 2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成22年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。